第１０４号

藤枝明誠ニュース

Fujieda Meisei News 2021.9

発行　学校法人　藤枝学園
藤枝明誠中学校・高等学校
渉外課広報担当
TEL（054）635-8155
FAX（054）635-8494
【URL】https://www.fgmeisei.ed.jp
【Email】meisei@fgmeisei.ed.jp

青藍祭６月12日（土）・7月19日（月）開催

廻天熱誠～熱い思い天まで!～

明誠生の団結力を発揮！

コロナを吹き飛ばせ！

このクラスにしかできないもの

210HR（明誠中出身）
横田川　竣太

話し合いの結果、私達210HRはカジノをやることになりました。感染症拡大予防の為の制限があるなかで、カジノ独特の雰囲気を作り出せるか不安でした。しかし、この状況下で本気を出すのが我らが210HR。HR委員を始めとする各ゲームのリーダーが適確な指示を出し、役割に沿って作戦を練りました。どうすればより良いものになるか、皆が意見を出し合い、改善していきました。思い返すと、準備期間はどの団体より笑顔に溢れていたと思います。本番、大勢の人が来てくださり、ディーラーとしての仕事を心から楽しんで行うことができました。互いを尊重しつつ、しっかり自己主張できる、このクラスだけの魅力を発揮できた文化祭でした。

熱く燃え上がった青藍祭

本校の文化祭である『青藍祭』が、6月11日に校内発表のみで開催された。今年度も新型コロナウイルスの感染が拡大する中、クラス・部活動・同好会・有志から計49団体が参加した。今年度のテーマは『廻天熱誠』。昨年から世界中で猛威を振るっているコロナウイルスの影響で、今まで出来ていたことが出来なくなっており、日常生活の中で多くのことが制限されている。このような状況下でも明誠生が熱く燃え上がる炎のように、青藍祭に熱く取り組むこと、困難な状況に立ち向かえるようにと願いを込めて名付けた。

文化祭の定番といえば各クラスが知恵を出し合い、工夫を凝らした展示・模擬店であるが、昨年度と同様に、調理や「迷路」、「お化け屋敷」などは密を避けるため、実施することはできなかった。様々な制限が設けられた中での開催だったが生徒たちは準備活動から互いに協力し合う姿があった。

模擬店では、すでに調理・包装されている商品が提供され、特にヤムニョムチキンは1番人気であった。展示ではゲームコーナーを中心に生徒自身が運営し、青藍祭を盛り上げた他、先生方直筆の書道作品の展示や中学生が先生方の生い立ちをまとめた作品を展示し、大きな反響を呼んだ。

ステージでは高校1年生がダンスを披露し、有志、吹奏楽は演奏をし、各団体とも個性を発揮して会場を沸かせた。

今年度も様々な制限が設けられた中での開催であったが、生徒たちの協調性や良いものを創り出そうとする熱意が伝わってきた。「こんなこと考えてるんだ」「細部までこだわって製作してる」など、生徒たちが熱中して青藍祭に取り組んでくれた令和3年度の青藍祭であった。

また、今年度は学校の諸事情により、追青藍祭として7月19日にも開催した。多くの先生方のご協力も頂き、無事にやり遂げることができた。今後もコロナウイルスと向き合った生活が続くが感染対策を徹底して生徒会活動に取り組んでいきたい。

（生徒会担当　辻　俊行）

思いがけない文化祭

36HR（藤枝中出身）
遠藤　薫

高校生活最後の文化祭ということもあり、私たちは時間をかけ準備をしました。新型コロナウイルス対策のため、去年と同様注意するべき点はたくさんあり、全ての過程がスムーズに進んだわけではありませんでした。しかし、クラス一丸となり納得いくまで話し合いをし、文化祭前日の遅くまで準備をしました。当日は教室内で楽しそうに食べている人も多く、その笑顔を見て今までやってきた達成感を感じることができました。コロナウイルスにより途中で中止になってしまい、とても残念でしたが、臨機応変に動くことができ、その後2回目の文化祭もあったため、忘れられない最高の思い出になったと思います。

全力を尽くした青藍祭

青藍祭実行委員長
35HR（長田南中出身）
井上　沙紀

「廻天熱誠」をテーマに掲げた青藍祭は、皆さんの学校生活の思い出の一つとして深く心に刻みつけるものになったと思います。わずか3時間で幕を下ろしてしまった青藍祭に、私たち生徒会は、たくさんの想いと時間をかけてきました。

そして、皆さんは当日に向けて十全十美の準備を進めていたと思います。2、3年生の例年以上に趣向を凝らした装飾は、準備期間から青藍祭を感じられ、1年生のクラス一丸となって練習する様子は、青藍祭に向ける熱い想いを感じることができました。

皆様のご協力のもと、2度目の青藍祭を迎えることとなり、改めて青藍祭が開催できたことを心から嬉しく思っております。開催にあたり、生徒会では「今できることは何か」を考え、生徒の皆さんに楽しんでもらえるよう2度目となる青藍祭に向け準備に励みました。

文化祭をはじめとした学校行事は、授業だけでは得られない仲間や周りにいる人たちへの感謝の気持ちを認識させ、同時に学校生活の思い出として心に残るものだと思います。例年通りに模擬店や展示を楽しめない悔しさがあったり、慣れない環境での準備に不安や苦労がありましたが、皆さんにとって、青藍祭が特別な思い出になっていたら嬉しいです。

最後になりますが、青藍祭の開催にご協力いただいた保護者の皆様、先生方、全校生徒の皆さんに深く感謝申し上げます。そして、約5カ月間の準備に全力を尽くした生徒会の皆さん、最後まで支えてくださった生徒会顧問の先生方、本当にありがとうございました。

2年ぶりの球音　夏空に響く

応援を力に勝利を目指した

改めて感じた力。最高の夏

野球部　主将
31HR（前林中出身）
川瀬譲二

私たち野球部は、常に「甲子園で勝つ」を目標にし、日々の練習を積み重ねてきました。この2年半、辛いことのほうが多いなかで、どうしたら自分たちが強くなっていけるか、勝てるチームになるか、全員が個々の良さ、チームの良さを考えながら、1つの目標に向かって進んでいくことができたことは、自分たちを大きく成長させ、強くしてくれました。

私たちの最大の目的は「人間形成」です。部活だけではなく、人としてやらなければいけないこと、挨拶や礼儀などをどういった心構えで行うか考え、行動し、実践してきました。これは自分たちのこれからの人生において社会に出て過ごしていく上で大事なことになってきます。

またこのコロナ禍の中にも関わらず応援に参加していただいた先生方、保護者や生徒の皆様におかれましては、大変暑い中でしたが、沢山の温かいご声援ありがとうございました。応援することのできなかった期間があった分、より応援の力を知ることができました。

これからも明誠野球部は、目標、目的を変えることなく、色々なことを努力し続け、沢山の人に応援され愛されるチームを目指してほしいと思います。

野球応援のあり方

応援団長
37HR（高洲中出身）
小林陸

新型コロナウイルスの影響で2年ぶりとなった夏の高校野球。このことに私は大きな不安を抱いていた。応援団の中で野球応援を体験しているメンバーはたったの二人。この大会で応援を次の世代に継承しなければ、明誠の応援団の伝統が途絶えてしまうのだ。

しかし、その心配は不要だった。決められた時間の中でテキパキと役割を全うしてくれた団員、実践で自分達のスタイルを確立すれば良いと声をかけてくれた先生、自分達も疲れているはずなのに「お疲れ様」「ありがとう」と声を掛けてくれる野球部、チアリーディング部、吹奏楽部のみなさん……。その他にも多くの人の支えがあった。

私は間違っていた。応援は一人が先頭に立って引っ張るものではなかった。学校全体で創っていくものなのだ。球場に集まった明誠生の姿に、私はそう気付かされた。グラウンドで戦う9人に学校中の視線が注がれる。この一体感は、野球応援だからこそ味わえたものだった。

私は失敗も多く、上手く応援をまとめられたかは分からない。しかし、最高に楽しかった。1つの目標に向かって全員で1つになれた、そんな最高の野球応援だったから。

野球応援と共に始まった夏

チアリーディング部
キャプテン
36HR（相良中出身）
柳愛乃香

今年のチアリーディング部の夏は、2年ぶりの野球応援と共に始まりました。昨年は新型コロナウイルスの影響で思うように応援活動ができず、もどかしい思いをしましたが、今年は様々な制限がありつつも直接応援ができることにとてもありがたみを感じました。

声を出しての応援ができない分ダンスで応援の気持ちを届けられるよう、メンバー同士でテストをし、アドバイスをし合うなど練習では特にダンスに力を入れ当日を迎えました。炎天下でも体調に気をつけながら全力で選手を応援し、さらに一般生徒の誘導も行うため、球場では部員一人一人のチアリーダー力が試されます。2年ぶりということもあり手探りの状態でスタートしましたが、多くの方々の協力のおかげで誰一人倒れることなくやり切ることができました。

野球部のみなさんの、最後まで懸命にプレーする姿に応援する側の私たちが励まされ、勇気をもらい、より一層応援に熱が入りました。私たちの応援が少しでも選手の力になっていたら嬉しいです。野球部のみなさん、そして大会前にも関わらず一緒に練習をしてくれた吹奏楽部のみなさん、最高の夏を本当にありがとうございました。

演奏で選手に力を

吹奏楽部　部長
27HR（菊川東中出身）
津村ゆり

私たち吹奏楽部は、この1年間、コロナ禍で参加予定だった多くのイベントが中止になりました。定期演奏会や青藍祭では入場制限が設けられるなど、例年の通りに活動できないことが多くあり、やり切れない気持ちがありました。そんな中、夏の野球応援が始まりました。

部員の多くは、「誰かを応援するための演奏」は初めてでした。少しでも選手の力になるような演奏ができるよう、広いスタンドで吹くことを想定して練習しました。試合当日、選手が見せる勝利への強い執念や、一球に対する集中力は、遠くのスタンドまで伝わってきました。それに応えようと、応援委員会、チアリーディング部、生徒の皆さんと一体になって応援しました。誰かを応援することでしか得られない達成感を感じることができました。そして初戦から最後の試合までで、たくさんの勇気と活力をもらえました。

この夏で得たものを、今後の私達の音作りに活かしていきたいです。野球部、チアリーディング部、応援委員の皆さん、ありがとうございました。

高校1年生特集　科・コース別に明誠での生活を語る

普通科

選手としても人間としても大きく成長する

11HR（鎌田中出身）
遠藤　新

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　初めての寮生活で、いろいろと大変な事はありますが、とても整った環境で部活や勉強ができているので、充実した生活を送れています。
Q：今一番力を入れていること
　部活動に力をいれていることと、英検準2級を取得し、選手としても、人としても成長して、他人から信頼してもらえるような人間になりたいです。
Q：この1年間の目標
　勉強面では、1番軸となる大事な年だと思うので、わからない所をわからないままにせず、正しい知識を身につけたい。部活では、1年生だからといった妥協を捨て、チームのためにできる事を自分から進んでやります。
Q：将来の夢
　将来は、社会に出ても恥かしくない人間になりたいと考えています。あいさつや、返事を基本として日常生活の中であたり前の事をあたり前にでき、周りから信頼される大人になり、社会に貢献したいと思います。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　英検準2級を取得し、選手としても、人としても成長して、他人から信頼してもらえるような人間になりたいです。
Q：将来の夢
　将来は、社会に出ても恥かしくない人間になりたいと考えています。あいさつや、返事を基本として日常生活の中であたり前の事をあたり前にでき、周りから信頼される大人になり、社会に貢献したいと思います。

学習と部活の両立を目指す

14HR（福岡日佐中出身）
長井　櫻之介

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　中学校の頃から環境が大きく変わり、新しい生活スタイルになかなか慣れなかったけど、まわりの人に支えられ、充実した学校生活を送ることができています。
Q：今一番力を入れていること
　学習と部活の両立に一番力を入れています。どちらも手を抜かず、全力で取り組んでいくようにします。
Q：この1年間の目標
　あいさつや掃除などの日頃の生活での行動を徹底し、人間性を高めていきます。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　学習と部活の両立ができた人になっていたいです。学習の面では、英検2級を取得し、希望する大学へと進学できる学力を身につけたいです。部活の面では、日々の努力を惜しまず、成長し続けていきたいです。そのために、無駄な時間をなくし、計画的に行動ができるようになります。
Q：将来の夢
　私は将来、まわりから信頼され、必要とされるような存在になっていたいと思います。サッカー部の松本監督から教わった人間性を大事に、今できることを全力で取り組んでいきます。

部活も勉強も全力で取り組む

13HR（浜松入野中出身）
原田　航太郎

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　勉強や部活など大変な事もありますが、良い友達にも恵まれ、毎日楽しく、充実した学校生活を送ることができています。
Q：今一番力を入れていること
　部活動に一番力を入れています。私は野球部に所属しており、甲子園で勝つためのチーム作りとして、野球だけで無く、私生活から隙を無くしていきます。
Q：この1年間の目標
　自分から、嫌な事、大変な事を率先して行い、甲子園で勝つための人間力をつけていきます。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　自分が学びたい分野の大学に進学するために、英検準2級を取得し、日々のスキマ時間の使い方を考え、大学の選択肢を広げられるようにしていきたいと考えています。
Q：将来の夢
　将来は建築系の仕事に就き、日本の都市の発展に貢献したいと考えています。そのために、文武両道をし、必要な学力をつけていきたいと思います。

英数科英数コース

目標達成に向けて

17HR（高洲中出身）
柴田　遙香

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　半年間、恵まれた環境の中で生活することができました。また、様々な部活動で活躍している仲間の存在が、私を動かす原動力となりました。
Q：この1年間の目標
　この1年、ニュースを見る機会を増やし、コロナ禍で急速に変わり続ける現代の社会情勢に目を向けていきたいと考えています。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　3年後の自分は、北海道大学に合格するための学力を身につけていると思います。
Q：将来の夢
　信念は貫きつつも、常に手段を選び続ける、芯の強い人間を目指して、今後、行動していきます。
Q：今一番力を入れていること
　今一番力を入れていることは、英検の勉強です。スタディーギアというアプリを利用して、毎日英単語を覚えたり、リスニングの強化のためにシャドウイングを行ったりしています。高校生のうちに準1級を取得できるように、日々の授業から意欲的に取り組んでいきます。
Q：この1年間の目標
　この1年、ニュースを見る機会を増やし、コロナ禍で急速に変わり続ける現代の社会情勢に目を向けていきたいと考えています。

一日一日着実に成長したい

18HR（附属島田中出身）
秋山　開星

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　新しい仲間、先生に出会い、良い刺激をもらいながら、目標へ向けて、努めることができています。
Q：今一番力を入れていること
　日々の学習です。自分は英語が得意ではないので、どのようにすれば、伸ばすことができるのか考えて、実行しています。
Q：この1年間の目標
　生活習慣の改善と、学習スタイルの定着です。まず、生活習慣を改善させることで、精神面、身体面を強くしていきたいです。そして、学習スタイルを定着させることで、2年生から、テンポ良く、学習を進めていきたいです。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　第一志望の大学に合格し、新たな目標を立てて、自分の成長のために努力を続けることができる人間になりたいと考えています。
Q：将来の夢
　医療関係の職業に就き、苦しんでいる人や、絶望に中にいる人に夢や希望を与えることができる存在になりたいです。

恵まれた環境を生かせるように

19HR（明誠中出身）
村松　結人

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　7時間授業や朝学習などの質の高い学習を友人たちと行うことで良い影響を与え合うことができ、充実した環境で勉学に励むことができています。
Q：今一番力を入れていること
　苦手な英単語と数学を中心とした基礎的な学力の向上です。テストや模試で良い結果を残すのはもちろんですが、それ以前にまず自分の決めた目標を達成することを大切にしています。
Q：この1年間の目標
　勉強を生活の一部にさせ勉強時間を増やしながら新聞やテレビ、インターネットからニュースやそれに関する知識を得て知見を広めることです。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　何事にも積極的に取り組む行動力を有した人間になっていたいです。また国立大学の工学部や理学部に入学できるほどの学力を身につけていたいです。
Q：将来の夢
　音響機器を製作する会社に就いて人々のニーズに答えながら、日本だけでなく海外でも活躍できる人材になることです。

英数科英数内進コース

学力、人間力の向上に努める

110HR（明誠中出身）
伊藤　咲瑛

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　内進クラスで、中校から一緒の仲間たちと楽しい学校生活を送っています。勉強や部活で忙しい毎日ですが、とても充実していると感じます。
Q：今一番力を入れていること
　限られた時間の中で、効率的に学習を行うことです。そのために、できるだけ授業内で理解するよう努力しています。
Q：この1年間の目標
　さまざまなことに興味を持ち、経験を増やしていくことです。それを通して、自分のやりたいことを見つけていきたいと思います。また、英検準1級を1年生の間に取得したいです。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　自分の目標に向かって日々努力できる人になっていたいです。そして、周りの人から信頼される存在になれるような学力、人間力を身につけていきたいです。
Q：将来の夢
　まだ明確には決まっていませんが、自分の能力を生かし、人々を笑顔にできる存在になりたいです。そのために、学校生活を通して自分の長所を見つけたり、コミュニケーション能力を高めたりしていきます。

英数科国際教養コース

将来に通用する英語力をみにつける

16HR（青島中出身）
中西　熙

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　国際教養コースは、少人数でみんな仲が良く居心地の良いクラスです。毎日充実した学校生活を送っています。
Q：今一番力を入れていること
　学校の部活動である写真部に加えて小学生の時から続けているボーイスカウトの活動にも力を入れています。海外のボーイスカウトとの交流もあるので、英語でのコミュニケーション力も高めていきたいです。
Q：この1年間の目標
　英検2級合格を目標に英語の四技能を高め、毎日継続して勉強していきたいです。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　志望大学に合格できるだけでなく、将来にも通用するような学力や教養を身につけたいです。
Q：将来の夢
　私は、旅行が好きなので観光学を学べる大学への進学を考えています。観光を企画、振興する側の勉強をしてみたいです。その為にもコロナ禍の一日も早い収束を願っています。

「英語」と「未来の私」

16HR（菊川西中出身）
堀内　理美

Q：半年間、明誠で生活してどうか
　私のコースでは、英語の授業が週10時間あります。水曜日には、「オンライン英会話」があり、フィリピンセブ島のインストラクターと時事ニュースなどの会話をしています。会話の中で、どのように英語で表現したらよいか分からず、悪戦苦闘しています。
Q：今一番力を入れていること
　英語が出来る様になる事です。その為に洋画の字幕を英語にし、週1本見る様にしています。勉強した英単語が、字幕に出ると嬉しくなります。
Q：この1年間の目標
　英検2級の合格です。それと学校の図書館の本を月1冊借りて読む事です。本を読んで自分の意見・考えをさらに持つことができる様になりたいからです。
Q：3年後の自分はどうなっていたいか
　第1志望の大学に入学し、一般教養科目「社会学」の講義に夢中になっていると思います。また、その頃の流行に関心を持ち、スキーサークルに入って楽しく過ごしていると思います。
Q：将来の夢
　「スクールカウンセラー」になる事です。以前私が悩んでいた時、母親に相談し、気持ちが楽になった事があります。悩んでいる子供の話を聞き今度は私が助けてあげたいと思います。

輝け君の汗と涙　全国高校総体
2021 北信越総体

高い目標を持つことの大切さ

陸上競技会場　9.98STADIUM にて

33HR（賤機中出身）　塚本　陸斗

インターハイに出て、まず自分の思ったことは、「結果が出せずに終わった」ということでした。自分が考えうる理由としては、目標の立て方だと思います。自分は、4月頃に立てた「インターハイに立てた「インターハイに出る」ということを目標としてやってきました。しかし、いざインターハイが決まると、目標を達成して、次の目標がみえなくなってしまいました。「ベストを出す」や「決勝進出」などの目標を東海大会が終わって数日後に立てましたがインターハイに出場できたうれしさというものがあったりと少しうかれていたのかもしれません。そのこともあり、気持ちの面で他の選手よりもおとっていたのではないかと思います。

今回の経験を通して、「目標は常に高く持つ」ということが大切だと思いました。今回のように東海大会で自分がかかげてきた目標が達成され、やりきった感が強くでてしまいました。

自分にはチャンスがもう一度あります。それは「全国高校駅伝である都大路で勝つ」というものです。自分達の代の目標は、都大路に出るだけではなく、都大路で勝つというものです。目標順位やタイムも昨年の12月に決めてからチーム一丸となって走ってきました。

まずは11月7日にある県駅伝で自分が走れるように今以上に努力し、7区の選手がトップでゴールし、11年間出ることができていない都大路という最後の舞台で、チームメイトや先生方、保護者などいろんな人が笑っておえることができるようにしたいです。

全国高等学校ライフル射撃選手権大会エアーライフル競技出場
84人中9位、僅差で入賞逃す
果たせなかったリベンジ

210HR（明誠中出身）　村松　佳香

8月11日、広島県つつがライフル射撃場で開催された全国高等学校ライフル射撃選手権大会にエアーライフル競技で参加しました。昨年は、コロナ感染予防でこの大会が中止になりました。今年は開催することとなりましたが、コロナ対策のために事前練習の時間もなく、競技も時間短縮のためにいつも60発で撃っているところを、40発に変更になりました。初めてやる射撃場、いつもとは違う標的、40発という少ない回数での試合で私は自分のペースにできないまま終わってしまいました。結果は84人中9人0.4点差で入賞することができませんでした。

国体は中止になったが、次の大会でのリベンジを誓う

帰りの新幹線で、東海ブロック大会で勝ち抜き10月に開催される三重とこわか国体で入賞をするという目標をつくり、翌日から練習方法、ライフルのセッティングを今までと変更し、もっと自分の力をつけられるように努力することに決めました。

8月22日、東海ブロックに2位になり、正式に静岡県代表として国体選手となりました。しかし、8月26日に国体が正式に中止となってしまいました。リベンジを果たそうとしていた試合がなくなり悔しいですが、数少ない試合に向け精一杯努力していこうと思います。

イングリッシュサマーキャンプ
in焼津青少年の家

好天に恵まれた3日間でした

8月に国際教養コース、1・2年生合計39名がイングリッシュサマーキャンプに参加しました。学年主任2名・日本人英語教師4名・外国人英語教師4名・カメラマン1名が同行し、また静岡県国際交流機構からセミナー講師3名も参加しました。初日の午後はカヌーの漕艇、夕食後は生徒主催のパーティで最初の夜を過ごしました。全員でのネパールダンスから始まり、手品、ダンス、怖い話、英語の歌、など盛りだくさんの楽しいパーティでした。2日目は英語の授業をクラス約10名の1・2年合同クラスで4時間、体育館でのレクリエーション、そして静岡県スピーチコンテストに出場する代表生徒を決める、2年生のスピーチコンテストを実施しました。夕食後はセミナーを受け、生徒同士で静岡の日帰り旅行を企画しました。最終日は各HRでキャンプの振り返りをして、その後、退所式でした。2泊3日という短い合宿でしたが、様々な体験を通して「仲間との親睦を深め、コミュニケーション能力と表現力を養う」という目的に大きく近づけたと考えています。

（26HR担任　餌打雅子）

とても充実した3日間

26HR（菊川東中出身）　津村　けい

私たち国際教養1・2年生は、夏休みにイングリッシュサマーキャンプへ行きました。楽しみにしていた行事の1つだったので、4月にキャンプができると知った時はとても嬉しかったです。

キャンプでは、1年生や外部から来て下さったネイティブの先生方と多くの授業やイベントをやりました。私はその1つのスピーチコンテストが1番楽しみでした。去年の私達と比べて、上手にスピーチをする友達を見て、すごくいい刺激になりました。そこで選ばれた私は9月に行われるスピーチコンテストの中部大会に出ます。明誠の代表として、少しでも上手にスピーチできるように頑張ります。他にも、ネパールからいらっしゃった先生のダンスや英語のみでのなぞときなどもあり、このキャンプを通して改めて自分の英語力を高めていきたいと思いました。

中学剣道部
個人戦女子県大会出場!!
悔しさと覚悟の県大会

J32HR（青島北小出身）　牧野　はるか

待ちに待った7月25日。この日のために一生懸命頑張ってきた成果を出す県大会がいよいよやってきました。

県立武道館に入った瞬間、会場内に響き渡る鋭い声と、竹刀同士が激しくぶつかる音に地区大会とは打って変わった緊張感あふれる空気を感じました。

「ああこれが県大会か」と味わったことのない気持ちが込み上げてきました。それと同時に、自分とは格段にレベルの違う選手たちに恐れ多さを感じながらも、その凛とした強い姿に憧れをもちました。

そして、自分の試合の出番がやってきました。結果は、自分の自分らしい剣道ができず、悔しさが溢れる状態で終わってしまいました。ですが負けた瞬間、溢れ出す悔し涙と同時に〝必ずリベンジする〟と強く心に決めました。

これからも感謝とこの悔しさを忘れず、頂点に向って努力したいです。

県大会では一刀に全力を傾けた

見事な演技をくり広げた選手達

チアリーディング&ダンス学生選手権大会
東日本1位!!
2021EAST
支えてくれた方々に感謝

23HR（明誠中出身）　龍崎　心

私たちは千葉県で行われたUSA Japan チアリーディング&ダンス学生選手権大会2021EASTに参加し、showcheerleading部門で1位を頂きました。

今年はDaisiesの歴代の中で1番多い24人で参加しました。コロナ禍で例年参加していたイベントが中止となり、昨年は大会も映像審査になってしまいました。そのため、人前で演技する機会がなく「誰かに見ていただく」という意識が作りづらかったので全員の気持ちを合わせる事に苦労しました。練習では細かいところから揃え、演技を1本通すごとに改善点を意識しながら、1分1秒を大切にして取り組みました。本番ではかなり緊張していましたがみんなで声を掛け合い、今までの最高の演技をすることができたと思います。

コロナ禍でも大会を開催して下さった関係者の方々、会場に行かせて下さった学校、家族に感謝の気持ちでいっぱいです。次の大会は中高別々で出場しますが両チーム良い報告ができるよう日常生活から見直し、技術もレベルアップしていきます。